職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年	-/J H	校						
大原簿記専門学	校神戸校	平成13年3月	月28日	佐蔣	英 顕	(住所)	851-0085 兵庫県神戸市中央区	区八幡通4-2-5		
設置者名	í	設立認可年	月日	代表	者名		078 — 222 – 8607	所在地		
学校法人 大原	原学園	昭和54年4	月1日	中本	毎彦	(住所)	101-0065 東京都千代田区西神	申田一丁目1番3号		
分野		 認定課程名		認定学科名	各	(電話)(03-3292-6266]士認定年度	高度専門士認定	年度 職業実	践専門課程認定年度
商業実務	商業	実務専門課程	オフ	フィスビジネス	ス学科	平成	15(2003)年度	-	平	成28(2016)年度
学科の目的	教育基本	法及び学校教育法に	基づき、簿記	已会計∙税務並	なびにこれらし	ごジネスに関	する教育を施し、人格	の陶冶を持って優位な	産業人を育成するこ	とを目的とする。
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	【取得可能	な資格】日商簿記検	定1級・2級、	ファイナンシャ	ャルプランニン	ン グ技能検定	3級・2級、日商リテー	ルマーケティング検定		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必	要な総授業 単位数	時数又は総	講	轰	演習	実習	実験	実技
2	昼間	※単位時間、単位いずる かに記入	1,700) 単位時間	5,119	単位時間	1,930 単位時間	330 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
年		JUL BC A		単位		単位	単位	単位	単位	単位
生徒総定員	生徒到	€員(A) 留学:	生数(生徒実員)	の内数)(B)	留学生割	合(B/A)	中退率			
40 人		٨	4	人	7	%	16 %			
	■卒業者 ■就職希	数(C) 望者数(D)	:	18 17						
	■就職者	数 (E)	:	17		人				
	■地元就	職者数(F) (E/D)		7 100		人				
		に占める地元就職者	番の割合 (F/I	E)						
	■卒業者	に占める就職者の割	合 (E/C)	41		%				
				94		%				
就職等の状況	■進学者 ■その他			1		Α				
	+>1									
	なし									
	(令和	6 年度卒業	者に関する令	今和 7 年5月1	1 日時点の情	報)				
		職先、業界等								
	(令和6年度							・ルナーカラ神戸 (性)	コビバシカメニ梅田	2 由 → (14)
	明本季士	(本) 二サル学(本) 十	[[도구+旦 (#4][に合 にかばい	ジャフマいに	エント コロカ				
	関西電力	㈱、三井化学㈱大	阪工場、㈱	阪急阪神ビシ	ジネスアソシ	エイト、山九	、(株)神戸支店、(株)ホラ	707 — 7 7 TH F (14)	コトハンカグノ梅田	TTIDINA
	■民間の	評価機関等から第	三者評価:	阪急阪神ビシ	ジネスアソシ 	エイト、山九	、株神戸支店、株ホラ 無		コドバンガグノ博山	. IT I⊨J(Inty
第三者による 学校評価	■民間の		三者評価:	阪急阪神ビシ	ジネスアソシ	エイト、山九	無		コドハンガググ特田	C ITTI-JUNY
第三者による 学校評価	■民間の ※有の場合	評価機関等から第	三者評価:	阪急阪神ビシ	ジネスアソシ 受審年月:	エイト、山九	無 評	m結果を掲載した ームページURL	コドハンガクノ悔山	TT II-3 (lety
学校評価 当該学科の	■民間の ※有の場合	評価機関等から第、例えば以下について	三者評価:	阪急阪神ビシ		エイト、山九	無 評	価結果を掲載した	コトハンガケブ特田	TT II-2(livy
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合	評価機関等から第、例えば以下について	三者評価: 任意記載			エイト、山九	無 評	価結果を掲載した	コドハンガケブ特田	X IT I-JUN
学校評価 当該学科の	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/set	三者評価: 任意記載			エイト、山力	無 評	価結果を掲載した	ロアパンガアノ梅田	X IT I-JUNY
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/ser 立時間による算定)	三者評価: 任意記載			エイト、山力	無 評	価結果を掲載した		
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 た、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/ser 立時間による算定) 総授業時数	三者評価: 任意記載 nmon/schoo	l/kobe/	受審年月:		無 評	価結果を掲載した	1,700 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 た、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/ser 立時間による算定) 総授業時数 うち企業	三者評価: 任意記載 nmon/schoo	l/kobe/ た実験・実習	受審年月: ・ 字 ・ 実技の授		無 評	価結果を掲載した	1,700 単位時間 210 単位時間]
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 た、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/ser 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち企ま	三者評価: 任意記載 nmon/schoo	l/kobe/	受審年月: ・ 字 ・ 実技の授		無 評	価結果を掲載した	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 た、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/ser 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち企ま	三者評価: 任意記載 mmon/schoo と等と連携し と等と連携し を実験数	l/kobe/ た実験・実習 た演習の授業	受審年月: ・実技の授: 時数	業時数	無 評水	価結果を掲載した	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 た、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/ser 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち企ま	三者評価: 任意記載 mmon/schoo 業等と連携し 装等と連携し 影授業時数 うち企業等	N/kobe/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した	受審年月: - ・実技の授: 時数 - 必修の実験	業時数・実習・実技	無 評水	価結果を掲載した	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 た例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/ser 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必ず	三者評価: 任意記載 mmon/schoo 業等と連携し 装等と連携し 影授業時数 うち企業等 うち企業等	A/kobe/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	受審年月: - ・実技の授: - ・実技の授: - ・実技の授: - ・変数の実験 - 必修の実験	業時数 ・実習・実技 D授業時数	無 評水	価結果を掲載した	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 た例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/ser 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必ず	三者評価: 任意記載 mmon/schoo 業等と連携し 装等と連携し 影授業時数 うち企業等 うち企業等	N/kobe/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した	受審年月: - ・実技の授: - ・実技の授: - ・実技の授: - ・変数の実験 - 必修の実験	業時数 ・実習・実技 D授業時数	無 評水	価結果を掲載した	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携に大況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/ser 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必称	三者評価: 任意記載 mmon/schoo 業等と連携し 装等と連携し 影授業時数 うち企業等 うち企業等	A/kobe/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	受審年月: - ・実技の授: - ・実技の授: - ・実技の授: - ・変数の実験 - 必修の実験	業時数 ・実習・実技 D授業時数	無 評水	価結果を掲載した	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等とと連携した実習等の実施状況	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 た例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/ser 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必ず	三者評価: 任意記載 mmon/schoo 業等と連携し 装等と連携し 影授業時数 うち企業等 うち企業等	A/kobe/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	受審年月: - ・実技の授: - ・実技の授: - ・実技の授: - ・変数の実験 - 必修の実験	業時数 ・実習・実技 D授業時数	無 評水	価結果を掲載した	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携に大況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/sei 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち企ま (うちú	三者評価: 任意記載 mmon/schoo 数等と連携し 数等と連携し が多る企業 うち企業 ラち企業 等と連携	A/kobe/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	受審年月: - ***・実技の授: - *** - ** - *** - *** - *** - * -	業時数 - 実習・実技 D授業時数 受業時数)	無 評水	価結果を掲載した	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携に大況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/sei 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必ず (うちú な数による算定) 総数による第定)	三者評価: 任意記載 mmon/schoo w等と連携し 接等と連携し ラち企業 うち企業 ラち企業 等と連携し	M/kobe/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した したインター	受審年月: 「・実技の授! は時数 必修の実験 必修の実験 ・ンシップの打・実技の単	業時数 - 実習・実技 D授業時数 受業時数)	無 評水	価結果を掲載した	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/sei 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必ず (うちú な数による算定) 総単位数 うち企ま うち企ま うち企ま	三者評価: 任意記載 mmon/schoo w等と連携し 接等と連携し ラち企業 うち企業 ラち企業 等と連携し	M/kobe/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した したインター た実験・実習	受審年月: 「・実技の授! は時数 必修の実験 必修の実験 ・ンシップの打・実技の単	業時数 - 実習・実技 D授業時数 受業時数)	無 評水	価結果を掲載した	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/sei 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必ず (うちú な数による算定) 総単位数 うち企ま うち企ま うち企ま	三者評価: 任意記載 mmon/schoo w等と連携し 接等と連携し うち企業等 うち企業等と連携し ま等と連携し ま等と連携し ま等と連携し	M/kobe/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した したインター た実験・実習	受審年月: 「・実技の授: は時数 必修の実験 必修の実験 ンシップの4 「・実技の単位 数	業時数 - 実習・実技)授業時数 受業時数)	無評か	価結果を掲載した	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/sei 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必ず (うちú な数による算定) 総単位数 うち企ま うち企ま うち企ま	三者評価: 任意記載 mmon/schoo **等と連携し が等と連携し うち企業等 と連携し き業等と連携し ま業等と連携し ま等と連携し は等と連携し ままする。	A/kobe/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した したインター た実験・実習 た演習の単位	受審年月: 「・実技の授: は時数 必修の実験 必修の実験 ・ンシップの打・実技の単位 ・変技の単位 ・変技の単位 ・ 変数 ・ 変数	業時数 ・実習・実技 り授業時数 ・受業時数)	無評か	価結果を掲載した	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携に大況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第	三者評価: 任意記載 mmon/schoo 数等と連携し 影授業時数 うち企業等 うち企業等と連携し 数等と連携し うち企業等と連携し 数等と連携し 数等と連携し	A/kobe/ た実験・実習 を実験・実習 を連携した に大変の受業 を連携した にたインター た実験・実習の単位 を実験・実習の単位	受審年月: 「・実技の授: は時数 必修の実験 必修の実験 ・ンシップの打・実技の単位 ・変技の単位 ・変技の単位 ・ 変技の単位 ・ 変数 ・ 必修の実験 ・ 必修の実験 ・ 必修の実験	業時数 ・実習・実技 > 授業時数 受業時数 立数 ・実習・実技	無評か	価結果を掲載した	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携に大況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第	三者評価: 任意記載 mmon/schoo 数等と連携し 影授業時数 うち企業等 うち企業等と連携し 数等と連携し うち企業等と連携し 数等と連携し 数等と連携し	ル/kobe/ た実験・実習 を連携した と連携したしたインター た実験・実習	受審年月: 「・実技の授: は時数 必修の実験 必修の実験 ・ンシップの打・実技の単位 ・変技の単位 ・変技の単位 ・ 変技の単位 ・ 変数 ・ 必修の実験 ・ 必修の実験 ・ 必修の実験	業時数 ・実習・実技 > 授業時数 受業時数 立数 ・実習・実技	無評か	価結果を掲載した	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 深等の実施状況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第	三者評価: 任意記載 mmon/schoo 数等と連携し 影授業時数 うち企業等 うち企業等と連携し 数等と連携し うち企業等と連携し 数等と連携し 数等と連携し	A/kobe/ た実験・実習 を実験・実習 を連携した に大変の受業 を連携した にたインター た実験・実習の単位 を実験・実習の単位	受審年月: 「・実技の授: は時数 必修の実験 必修の実験 ・ンシップの打・実技の単位 ・変技の単位 ・変技の単位 ・ 変技の単位 ・ 変数 ・ 必修の実験 ・ 必修の実験 ・ 必修の実験	業時数 ・実習・実技 > 授業時数 受業時数 立数 ・実習・実技	無評が	価結果を掲載した	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/set 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必ず (うちú な数による算定) 総数による第定) 総数による第定) の担当な数 「うちú での担当な数育なの事情	三者評価: 任意記載 mmon/schoo 数等と連携し うちを連携し うちを連携 を楽等と連携し うちを連携 を楽等と連携し うち企連携 である企業等 と連携し うち企業等 を連携し である。	A/kobe/ た実験・実習 た実験の授業 等と連携した したインター た実験の単位 た実験の単位 た実験の単位 た実験の単位 た大演習の単位 た大演習の単位 た大演習の単位 た大演習の単位 た大演習の単位 た大変を連携した したインター	受審年月: 『・実技の授: 『・実技の授: 『・実技の授: 『・実技の過ぎる。 ・実技の単する ・実技の単する ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数	業時数 - 実習・実技 - 実理・実技 - 大変を表す。 - 実習・実技 - 大変を表す。 - 実習・実技 - 大変を表す。 - 大変を表すを表す。 - 大変を表す。 - 大変を表す。 - 大変を表す。 - 大変を表す。	無評が	価結果を掲載した ームページURL	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携に大況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 京、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/ser 放時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち企ま うち企ま うち企ま うち企ま うち企ま うち企ま うち企ま うち企ま うち企ま うち企ま うち企ま	三者評価: 任意記載 mmon/schoo 数等と連携し うちを連携し うちを連携 を楽等と連携し うちを連携 を楽等と連携し うち企連携 である企業等 と連携し うち企業等 を連携し である。	A/kobe/ た実験・実習 た実験の授業 等と連携した したインター た実験の単位 た実験の単位 た実験の単位 た実験の単位 た大演習の単位 た大演習の単位 た大演習の単位 た大演習の単位 た大演習の単位 た大変を連携した したインター	受審年月: 『・実技の授: 『・実技の授: 『・実技の授: 『・実技の過ぎる。 ・実技の単する ・実技の単する ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数	業時数 - 実習・実技 - 実理・実技 - 大変を表す。 - 実習・実技 - 大変を表す。 - 実習・実技 - 大変を表す。 - 大変を表すを表す。 - 大変を表す。 - 大変を表す。 - 大変を表す。 - 大変を表す。	無評が、	価結果を掲載した ームページURL	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携に大況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 http://ww	評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/set 立時間による 算定) 総授業時数 うち企ま うち必 (うちá な数による 第定) 総単位数 うち企ま うち必 (うちá である である である である である である である であ	三者評価: 任意記載 mmon/schoo www.www.www.www.www.www.www.www.www.	A/kobe/ た実験・実習 た実験の授業 等と連携した したインター た実験の単位 た実験の単位 た実験の単位 た実験の単位 た大演習の単位 た大演習の単位 た大演習の単位 た大演習の単位 た大演習の単位 た大変を連携した したインター	受審年月: 『・実技の授: 『・実技の授: 『・実技の授: 『・実技の過ぎる。 ・実技の単する ・実技の単する ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変数	業時数 ・実習・実技 の授業時数) 立数 ・実理 位数 ・実体 が関 ・実技 ・実持 の ・実施 ・実技 ・実技 ・実技 ・実持 ・実技	無 評ポート の授業時数 の単位数 交設置基準第41条第1項	新1号)	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の実がした。 実である。 に記入)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単作	評価機関等から第 、例えば以下について 詳価団体: ww.o-hara.ac,jp/set 立時間による 立時間による うち企 総授業時数 うち企 立数による 立数による 立数による 立数による 立数による 立数による 立方ち企 おうちらが (うちん での担修業となる者 (② 学士の学位を ② 学士の学位を	三者評価: 任意記載 mmon/schoo を装等と連携し うち企業等をと連携し うち企業等をと連携し うち企業等をと連携し うち企業等をと連携し うち企業等をと連携し うち企業等をと連携し うち企業等をと連携し うちな企業等をと連携をある企業をある企業をある企業をある企業をある企業をある企業をある。	A/kobe/ た実験・実習 た実験の授業 等と連携した したインター た実験の単位 た実験の単位 た実験の単位 た実験の単位 た大演習の単位 た大演習の単位 た大演習の単位 た大演習の単位 た大演習の単位 た大変を連携した したインター	受審年月: 『・実技の授: 『・実技の授: 『・実技の授: 『・実技の過ぎる。 ・実技の単する ・実技の単する ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変数	業時数 ・実習・実技 シ授業時数 ・実習・実技 ・実習・実技 ・実理・数 ・実習・実技 ・実習・実技 ・実際 ・実際 ・実際 ・実技 ・実際 ・実技 ・実験 ・実技 ・実験 ・実験 ・実験 ・実験 ・実験 ・実験 ・実験 ・変勢	無 の授業時数 の単位数 交設置基準第41条第1項	新1号)第2号)	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページURL と実等をの実施が出た。 とまでは、「ここののでは、ここののでは、ここののでは、ここののでは、ここののでは、ここのでは、ここのでは、ここのでは、ここのでは、ここのでは、ここのでは、ここのでは、ここのでは、ここのでは、ここのでは、ここのでは、ここのでは、ここのでは、ここのでは、ここのでは、ここのでは、ここのでは、ここのでは、ここのでは、このでは、	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単作	評価機関等から第	三者評価: 任意記載 mmon/schoo をと連携し うち企業等 をと連携し うち企業等 をと連携し うち企業等 をと連携し うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業を うちを うち企業を うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うち	A/kobe/ た実験・実習業 等と連携した た実験の授業 等と連携したインター た実験での単位 にたインター た実験での単位 にたインター た実験での単位 にたインター たまのである。 であることを とをであってと ともである。	受審年月: 『・実技の授: 『・実技の授: 『・実技の授: 『・実技の過ぎる。 ・実技の単する ・実技の単する ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変数	業時数 ・実習・実技)授業時数 ・受業時数 ・実理位数 ・実性位数 ・実性位数 ・実際等性 ・事修学性 ・事修学を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	無 の授業時数 の単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	新1号)第2号)第3号)	1.700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携携した沢(A B I) に記入)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単作	評価機関等から第 () の人は以下について () の人がは、 () の人がない。 () の人がない。 () のんがない。 () のんがな	三者評価: 任意記載 mmon/schoo をと連携し うち企業等 をと連携し うち企業等 をと連携し うち企業等 をと連携し うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業を うちを うち企業を うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うち	A/kobe/ た実験・実習業 等と連携した た実験の授業 等と連携したインター た実験での単位 にたインター た実験での単位 にたインター た実験での単位 にたインター たまのである。 であることを とをであってと ともである。	受審年月: 『・実技の授: 『・実技の授: 『・実技の授: 『・実技の過ぎる。 ・実技の単する ・実技の単する ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変数	業時数 ・実習・実技 ・ 実技 ・ 実技 ・ 実理・ 大 ・ 実技	無 アナー・ アナー・ アナー・ アナー・ アナー・ アナー・ アナー・ アナー・	新1号)第2号)第3号)(第4号)	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 2 単位 -	
学校評価 当該学科のホームページ URL を業等をの実践等の表した。 とと連携施状況からに記入)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単作	評価機関等から第 「 例えば以下について	三者評価: 任意記載 mmon/schoo をと連携し うち企業等 をと連携し うち企業等 をと連携し うち企業等 をと連携し うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業を うちを うち企業を うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うち	A/kobe/ た実験・実習業 等と連携した た実験の授業 等と連携したインター た実験での単位 にたインター た実験での単位 にたインター た実験での単位 にたインター たまのである。 であることを とをであってと ともである。	受審年月: 『・実技の授: 『・実技の授: 『・実技の授: 『・実技の過ぎる。 ・実技の単する ・実技の単する ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変数	業時数 ・実習・実技 ・ 実技 ・ 実技 ・ 実理・ 大 ・ 実技	無 の授業時数 の単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	新1号)第2号)第3号)(第4号)	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 2 単位 - 人 0 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL を業等をの実施が出た。 と実際のように記入) に記入)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単作	評価機関等から第 () の人は以下について () の人がは、 () の人がない。 () の人がない。 () のんがない。 () のんがな	三者評価: 任意記載 mmon/schoo をと連携し うち企業等 をと連携し うち企業等 をと連携し うち企業等 をと連携し うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業を うちを うち企業を うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うち	A/kobe/ た実験・実習業 等と連携した た実験の授業 等と連携したインター た実験での単位 にたインター た実験での単位 にたインター た実験での単位 にたインター たまのである。 であることを とをであってと ともである。	受審年月: 『・実技の授: 『・実技の授: 『・実技の授: 『・実技の過ぎる。 ・実技の単する ・実技の単する ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変数	業時数 ・実習・実技 ・ 実技 ・ 実技 ・ 実理・ 大 ・ 実技	無 アナー・ アナー・ アナー・ アナー・ アナー・ アナー・ アナー・ アナー・	新1号)第2号)第3号)(第4号)	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 2 単位 -	
学校評価 当該学科のホームページ URL を業等をの実施が出た。 と実際のように記入) に記入)	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単作	評価機関等から第 「 例えば以下について	三者評価: 任意記載 mmon/schoo をと連携し うち企業等 をと連携し うち企業等 をと連携し うち企業等 をと連携し うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業を うちを うち企業を うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うち	A/kobe/ た実験・実習業 等と連携した た実験の授業 等と連携したインター た実験での単位 にたインター た実験での単位 にたインター た実験での単位 にたインター たまのである。 であることを とをであってと ともである。	受審年月: 『・実技の授: 『・実技の授: 『・実技の授: 『・実技の過ぎる。 ・実技の単する ・実技の単する ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変称の演習る ・変数 ・変数	業時数 ・実習・実技 ・ 実技 ・ 実技 ・ 実理・ 大 ・ 実技	無 アナー・ アナー・ アナー・ アナー・ アナー・ アナー・ アナー・ アナー・	新1号)第2号)第3号)(第4号)	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 2 単位 - 人 0 人	
学校評価 当該学科のホームページURL と実等をの実施が出た。 とまでは、「ここのでは、このでは、	■民間の ※有の場合 http://ww (A:単作	評価機関等から第で、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/set 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うちか (うちな な数による算定) 総理位数 うち企ま うちか (うちな でする数とはな数 「うちな (うちな な数によるな数 (うちな な数によるな数 ながなが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが、なが	三者評価: 任意記載 mmon/schoo 装等と連携し うちと連携し うちと連携しし 業等と連携が うちと連携 乗等をと連携が うちと連携 乗等をと連連携 乗等をを連携 乗等をを連携 乗等を表	Il/kobe/ た実験・実置 をと連携した を実と連携した を実習 をと連携した を実習 した を実習 した を実習 した を実習 した を表 を は を は を を と を は を を と を な な な の は に な の に な に な	受審年月: - ・実技の授: - ・実技の授: - ・実技の授: - ・実技の単・ - ・実技の単・ - ・変技の単・ - ・変数の単・ - ・変	業時数 - 実習・実技 - 実理・実技 - 実理・要数 - 実理・要数 - 実理位数 - 単位数 - 単位数 - (専修学社 - (専修学社 - (専修学社 - (専修学社 - (専修学社 - (専修学社 - (・)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	無 アナー・ アナー・ アナー・ アナー・ アナー・ アナー・ アナー・ アナー・	新1号)第2号)第3号)第4号)第5号)	1,700 単位時間 210 単位時間 120 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 2 単位 - 人 0 人	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程 の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針
- ①卒業生の主な就業先である一般事業会社と連携して教育課程の編成を行うことにより、専門的かつ実践的な知識・技術を修得した即戦力となる人材を育成する。
- ②商業実務分野における学修の中心となる会計知識、計数能力、マーケティング知識、情報パソコンスキルは勿論のこと、コミュニケーション技術や業界別の専門知識などの教育内容に関して、教育課程編成委員会を通じて常に業界の最新の情報を反映させる。
- ③上記①、②により編成された授業科目、内容が実践習得されているかどうか、教育課程編成委員による実践的視点で評価を受け、課題を浮き彫りにする事で、教育の質の確保ならびに更なる教育の質向上に活用する。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- ①位置づけについて

教務課の上位に教育課程編成委員会を設置し、企業等からの提言を参考にして本校の教育課程編成について協議策定するための機関として位置づける。また、委員会での協議結果は大原学園教育本部に提出し、大原学園全校の教育課程編成にも活用していく。

- ②意思決定の過程について
- (ア)学科の目的に基づき予め学内において現状の課題等を明確にした上で、教育課程編成委員会に提言を求める。
- (イ)委員会では企業等からの意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案を策定する。
- (ウ)委員会での協議内容は学園教育本部に提出し、学園全校の教育課程編成にも活用していく。
- (エ)教育課程編成委員に教育現場の責任者である学校長・教務課長が参加することで、企業等の委員から提示された課題、改善提案を速やかに次年度以降の教育課程(授業科目、内容、手法)の編成に反映させることができる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和〇年〇月〇日現在

				770 - 70 -
	名 前	所 属	任期	種別
小林	和弘	神戸商工会議所	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	1
原口	哲也	洋服の青山 三宮店	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	3
佐藤	顕	学校法人大原学園 大原簿記専門学校神戸校	_	-
恩知	孝康	学校法人大原学園 大原簿記専門学校神戸校	_	_
宮本	一歩	学校法人大原学園 大原簿記専門学校神戸校	_	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(8月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年8月1日 16:30~17:30

第2回 令和6年11月14日 16:30~17:30

第1回 令和7年8月7日 16:30~17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

学生の職業体験を通して、応募のミスマッチを避けることを目的としてインターンシップの導入を計画しているが、学校の教育として、資格取得等による知識の習得が必要であるため、長期休暇期間での参加や1日設定のものも増えているため、週末などを活用した検討を行っている。

- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
- ①商業実務分野における実習・演習は、教育社会福祉分野、工業分野等の分野と異なり、企業等との連携の下、学内で行なわれる学習科目が多いことを考慮して、実習・演習の組立を行なう。
- ②企業等との連携による実習・演習を通じて学生のより実践的な知識・思考・技術の修得と、社会人としての意識改革を実現する。
- ③企業等から実習・演習の授業内容、手法に関して具体的な助言を仰ぎ、学生の知識・技術の修得状況に対して実践で活かせるレベルか否かを企業等の実務の視点から評価を仰ぐ。
- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
- 「「卒業研究」の授業運営に関して企業等と協定書を締結、打合せを行い、下記のとおり実習・演習を行った。
- ①昨年度同様、4~5名のグループを構成し、グループ単位で経営企画案を作成。
- ②兵庫県内のイオンの店舗を実際に訪問し、評価ポイントの確認を実施。
- ③パワーポイントを駆使し、プレゼンテーション手法を修得。
- ④神戸校内の代表を選出し、イオンリテール株式会社様に対し、直接プレゼンテーションを行い、評価をいただく。
- (3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
卒業研究	2.【校内】企業等から の講師が一部の授業 のみを担当	実店舗を題材にして、課題に対す る改善案を提案し発表する	イオンリテール株式会社
職業実務Ⅱ		実務経験のある講師をお招きし、 その講義から得た知識を基に官庁 企業研究を行う	第5管区海上保安庁

- 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係
- (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
- ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

専門的かつ実践的な知識・技能を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身に付けなければならない。そのために下記のとおり教員研修の環境を整える。

「大原学園 教職員研修規定」の目的に定めるとおり、教職員が専攻分野に関する知識・技能・企画力・判断力等を高めるための環境を整備し、所属長の指示または本人の意志により、公平に研修等を受講する機会を与えるものとする。校内、校外において学園が企画する研修は以下のとおり。

- ①教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・指導スキル研修
- ②大学教授等専門分野に特化した講師として招いた研修会の実施
- ③学内に設置される付帯教育講座を利用しての自己啓発
- ④兵庫県(関連団体等含む)主催の実践的な知識・指導スキル研修
- (2)研修等の実績
- ①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 職業会計人の職業倫理について 連携企業等: 税理士法人エム・アンド・アイ

期間: 令和6年10月19日(土) 対象: オフィスビジネス学科教員

内容 研修により資格取得の先にある職業倫理観について税理士をモデルとして学び、就職指導を行う際のベースとなる知識を事前に習得する

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 青年期の自殺予防 連携企業等: 兵庫県県民生活部くらし安全課

期間: 令和6年10月30(水) 対象: 全学科教員

内容 自傷行為や過量服薬などについて詳しい内容や予防策を学ぶ。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 税務調査におけるAI判定導入について(予定) 連携企業等: 税理±法人エム・アンド・アイ

期間: 令和7年10月予定 対象: 当学科教員

内容 今年度より税務調査に実際取り入られるAI判定の現状と手法について概要を学ぶ(予定)

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 生徒の困りごとに気づき、適切に対応するために 連携企業等:神戸市

期間: 令和7年2月17日(月) 対象: 全学科教員

内容 思春期の生徒の特長実態、不登校や自傷行為、オーバードーズへの理解と対応

研修名: 神戸市自殺総合対策フォーラム 連携企業等:神戸市精神保健福祉センター

期間: 令和7年3月8日(土) 対象: 全学科教員

内容若者を支援する講師の方の現状理解と事情ある生徒の支え方の共有

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、教育を実現するために必要な環境が整っているかにつき、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。委員(外部の役職者)より評価いただき、結果はHPで公表する。課題の残る評価結果については、課長職以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(2)「専修字校における字校評価カイドライン」の	項目との対応
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	①理念・目的・育成人物像は定められているか。 ②学校の特色はなにか。 ③学校の将来構想を抱いているか。
(2)学校運営	①運営方針は定められているか。 ②事業計画は定められているか。 ③運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか。 ④人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか。 ⑤意思決定システムは確立されているか。 ⑥情報システム化等による業務の効率化が図られているか。
(3)教育活動	①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニース に向けて正しく方向づけられているか。②修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか。③カリキュラムは体系的に編成されているか。④学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか。⑤キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法等が実施されているか。⑥授業評価の実施・評価体制はあるか。 ⑦育成目標に向け授業ができる要件を整えた教員を確保しているか。 ⑧成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。 ⑨資格取得の指導体制はあるか。
(4)学修成果	①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか。 ②資格取得率の向上が図られているか。 ③退学率の低減が図られているか。 ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。

(5)学生支援	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。 ⑦保護者と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。
(6)教育環境	①施設・設備は、教育の必要性に十分対応できるように整備されているか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。 ③防災に対する体制は整備されているか。
(7)学生の受入れ募集	①学生募集活動は、適正に行われてているか。 ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 ③入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか。 ④学納金は妥当なものとなっているか。
(8)財務	①中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。 ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 ③財務について会計監査が適正に行われているか。 ④財務情報公開の体制整備はできているか。
(9)法令等の遵守	①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 ③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。 ④自己点検・自己評価結果の公開はしているか。
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか。 ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。
(11)国際交流	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

教育業界では生徒やその家族との接点が多くなることから、その時代にあった取り組みや知識を付けることが求められてお り、教員の資質向上が重要となる。大原学園では、高い就職率・資格合格率・公務員合格率を引き続き維持していただくと もに、生徒の専門知識を始めとして、様々な教育の機会を提供することで、社会に貢献できる人材の育成に取り組んでいき たい。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
石井 祐介	自衛隊兵庫地方協力本部 神戸出張所	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委 員
前原 啓二	前原会計事務所 インターナショナル・アウトソーシング有限会社	令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年)	企業等委 員
上野 雄一	青山商事株式会社 法人部	令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年)	企業等委 員
原口 哲也	洋服の青山 三宮店	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委 員
黒木 輝幸	株式会社サップス	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委 員
久保田 知志	医療法人沖縄徳洲会 神戸徳洲会病院	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委 員
釜田 亮佑	釜田税理士事務所	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・) 広報誌等の刊行物・ その他())

https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/ 令和7年10月6日 URL:

公表時期:

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に 関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
- ①実践的な職業教育における成果を広く周知することにより、入学希望者の適切な学習機会選択に資すること。そのために、学校関係者評価結果も含めて教育活動の状況や課題など学校全体に関する情報を分かりやすく示すこと。
- ②また、上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼に繋げていくこと。
- ③情報の公表を通じて学校の教育の質の確保と向上を図ることを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

カナ 0/2 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1
学校が設定する項目
①概要 ②教育方針 ③沿革
①入学定員 ②受入方針 ③カリキュラム ④進級、卒業要件等 ⑤専門士・高度専門士の称号付与 ⑥目標とする国家試験、検定試験等 ⑦主たる国家試験、検定試験等の合格実績 ⑧卒業生の進路
①教職員数 ②教職員の専門性
①キャリア教育 ②実習・実技等 ③就職支援等
①学校行事 ②課外活動
①完全担任制 ②就職教育
①学生納付金 ②奨学金、学費減免等
学園の財務状況公開
学校関係者評価結果
-
-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ · 広報誌等の刊行物 · その他())

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

公表時期: 令和7年10月6日

授業科目等の概要

	#RE	F! 分類							垣	3 堂 -	方法	場	酥	教	8	
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習・実	校内		専任	兼任	企業等との連携
1	0			簿記入門 I	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ。	1 前	30	1	0			0		0		
2	0			一般教養Ⅰ	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字 熟語、慣用句などを学ぶ。	1 前	30	1		0		0		0		
3	0			ビジネス教養 I	企業内で多岐にわたり使用される電卓のス ピード、正確性を高める実技演習を行う。	1 通	30	1	Δ	0		0		0		
4	0			キャリアデザ インI	面接試験において求められるビジネスマ ナーの基礎を学ぶ	1 通	30	1	۵	0		0		0		
5			0	1級会計学入 門 I	資産負債中心観を主体とした理論体系を学 び現行基準との整合性、課題を学ぶ	1 前	90	3	0			0		0		
6			0	1級原価計算 入門 I	伝統的な工業簿記および原価計算の基本的 な内容を学ぶ	1 前	90	3	0			0		0		
7			0	1級会計学基 礎 I	会計基準のみならず適用指針など実務に直 結する会計の基礎について学ぶ	1 前	90	3	0			0		0		
8			0	1級原価計算 基礎 I	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎お よび経営戦略の基本的な内容を学ぶ	1 前	30	1	0			0		0		
9			0	1級会計学総 合 I	会計基準のみならず適用指針など実務に直 結する会計について、より詳細に学ぶ	1後	90	3		0		0		0		
10			0	1級原価計算 総合 I	原価計算基準の理論体系、多様化する製造 過程に対する会計処理、経営戦略につい て、より詳細に学ぶ	1後	90	3		0		0		0		
11			0	1級会計学速 習基礎	会計基準および適用指針など実務に直結する会計の基礎について短期間で学習し、問題演習は各自で行うことを原則とする	1 前	90	3	0			0		0		
12			0	1級原価計算 速習基礎	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎お よび経営戦略の基本的な内容について短期 間で学習し、問題演習は各自で行うことを 原則とする	1 前	60	2	0			0		0		
13			0	1級簿記速習 総合	大企業を前提とした会計制度を学ぶ	1 前	120	4		0		0		0		
14			0	1級簿記速習 演習	個別会計、結合会計などを通じて近年の企 業再編等についても学ぶ	1 前	90	3		0		0		0		
15			0	全経簿記上級 総合 I	大企業を前提とした会計制度、複雑な会計 処理をより詳細に学ぶ	1 前	120	4	0	Δ		0		0		
16			0	2級商業簿記 基礎 I	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会 社会計の基礎を学ぶ	1 前	90	3	0			0		0		
17			0	2級商業簿記 基礎Ⅱ	試算表、精算表、財務報告書など他の会計 書類の関連性について体系的に学び、財務 報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ	1 前	90	3	0			0		0		
18			0	2級工業簿記 基礎 I	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ	1前	60	2	0			0		0		
19			0	2級工業簿記 基礎Ⅱ	工業簿記および原価計算の関係および会計 処理を学ぶ	1 前	90	3	0			0		0		
20			0	2級商業簿記 応用 I	商企業の会計処理に関する全体の関連性に ついて体系的に学ぶ	1 前	30	1	0			0		0		
21			0	2級工業簿記 応用 I	工業簿記および原価計算の関係および会計 処理を学ぶ 商企業および工企業の会計処理を問題演習	1 前	30	1	0			0		0		
22			0	2級簿記総合 I	関企業および工企業の芸計処理を向越演首 を通じて学び、 本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も 学ぶ	1 前	120	4		0		0		0		
23			0	2級簿記総合Ⅱ	商企業および工企業の会計処理を問題演習 を通じて学習し、総合問題の基礎も学ぶ	1通	90	3		0		0		0		
24			0	2級簿記総合Ⅲ	株式会社の会計処理を問題演習、総合問題 の演習を通じて学ぶ	1通	90	3		0		0		0		
25			0	3級商業簿記 基礎	株式会社における複式簿記の基本原理、簿 記の基本原理を学ぶ	1 前	90	3	0			0		0		
26			0	3級簿記総合	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題 演習を通じて学ぶ	1 通	120	4		0		0		0		
27			0	Excel基礎	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用 法を習得する	1後	60	2	Δ	0		0		0		

28	0	Power Point 基礎	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作 を理解する	1 通	30	1			0	0		0		
29	0	ITリテラシ	ネットワーク、セキュリティの知識とコン ピュータの基本操作を学ぶ	1 後	90	3	0	Δ		0		0		
30	0	キャリアデザインⅡ	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習	1 後	30	1	Δ	0		0		0		
31	0	キャリアデザインⅢ	社会環境を理解し、課題をクリアする力を 身につける為の学習	1後	30	1	Δ	0		0		0		
32	0	時事	現代社会における主要な時事の基本用語を 理解し、自分の考えや意見を持つための学 習	1 後	30	1	0			0		0		
33	0	トレーニング 実習	トレーニング関連の講義から得た知識を活かした実習を行う	1後	30	1			0		0	0		
34	0	簿記論入門 I	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理 的な思考を基に、文章問題を解答する。	1 前	30	1	0			0		0		
35	0	財務諸表論入 門 I	会計学の概要入門を学ぶ。	1 前	30	1	0			0		0		
36	0	簿記論基礎I	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論 理的な思考を基に、文章問題を解答する。	1 後	120	4	0			0		0		
37	0	簿記論基礎Ⅱ	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論 理的な思考を基に、文章問題を解答する。	1 後	120	4	0			0		0		
38	0	簿記論入門Ⅱ	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的 な思考を基に、文章問題を解答する。	1 後	90	3	0			0		0		
39	0	財務諸表論入門Ⅱ	会計基準の概要入門を学ぶ。	1 後	90	3	0			0		0		
40	0	財務諸表論基 礎 I	金融商品取引法の概要入門を学ぶ。	1後	120	4	0			0		0		
41	0	財務諸表論基 礎 Ⅱ	会計学の入門・基礎を学ぶ。	1後	120	4	0			0		0		
42	0	会計士キャリ アデザイン I	職種や業種について基本的学習を行いつ つ、会計士試験の理解を深め試験勉強と実 務におけるつながりを理解する。	1通	30	1	0	Δ		0		0		
43	0	監査論入門 I	監査手続きに関する基礎的な枠組みを学 ぶ。	1 前	30	1	0			0		0		
44	0	監査論入門Ⅱ	監査手続きに関する基礎的な枠組みを学 ぶ。	1後	30	1	0	Δ		0		0		
45	0	監査論入門Ⅲ	監査手続きに関する基礎的な枠組みを学 ぶ。	1後	30	1	0	Δ		0		0		
46	0	管理会計論入 門 I	管理会計の概要を知り、数学的な基礎知識 を学ぶ。	1 前	30	1	0	Δ		0		0		
47	0	管理会計論入 門 Ⅱ	管理会計の概要を知り、数学的な基礎知識 を学ぶ。	1 前	60	2	0	Δ		0		0		
48	0	管理会計論入 門皿	択一式の問題演習を通しながら、計算力の 向上や原価計算基準を学ぶ	1後	60	2	0	Δ		0		0		
49	0	管理会計論入 門演習 I	問題演習を行うことで、原価計算制度の基 礎知識を定着させることを図る。	1 後	30	1	0	Δ		0		0		
50	0	企業法入門 I	会社法の全体像を俯瞰し、会社の設立を中心とした基礎的な概念を学ぶ。	1 前	60	2	0			0		0		
51	0	企業法入門 II	会社法の全体像を俯瞰し、株式を中心とした基礎的な概念を学ぶ。	1後	30	1	0	Δ		0		0		
52	0	企業法入門Ⅲ	会社法の全体像を俯瞰し、株式会社の機関 設計や資金調達を中心とした基礎的な概念 を学ぶ。	1 後	60	2	0	Δ		0		0		
53	0	財務会計論財 表入門 I	財務会計の基礎概念を体系的に学ぶ。	1 前	30	1	0			0		0		
54	0	財務会計論財表入門Ⅱ	概念フレームワーク及び資産評価の基礎概 念を学ぶ。	1後	30	1	0	Δ		0		0		
55	0	財務会計論簿 記入門 I	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答 を行う。	1 前	30	1	0	Δ		0		0		
56	0	財務会計論簿記入門Ⅱ	現金預金及び金銭債権に関する初歩的な知識を学ぶ。	1 前	60	2	0	Δ		0		0		
57	0	財務会計論簿記入門Ⅲ	基礎知識の定着度確認を目的とする演習。	1 後	30	1		0		0		0		
_	 -			_		_	_	-	_		_		_	_

58			0	財務会計論簿記入門Ⅳ	有価証券及び有形固定資産に関する初歩的 な会計処理を学ぶ。	1 後	90	3	0	Δ		0		0		
59			0	財務会計論簿 記入門演習 I	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答 を行う。	1 後	30	1	0	Δ		0		0		
60			0	短答式対策入 門総合 I	模擬試験形式による効果測定。	1 後	30	1	0	Δ		0		0		
61			0	租税法入門 I	法人税法の概要を捉え、基本的な計算を学ぶ	1 後	30	1	0			0		0		
62			0	会計学入門 I	簿記一巡・商品の流れの初歩的な知識及び 倫理的な思考を基に、文章問題を解答す る。	1 前	60	2	0	Δ		0		0		
63			0	会計学入門Ⅱ	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	1 前	60	2	0	Δ		0		0		
64	0			一般教養Ⅱ	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身に付ける	2 前	30	1		0		0		0		
65	0			コミュニケー ション概論	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ。	2 後	30	1	Δ	0		0		0		
66		0		ビジネス教養 II	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	2 通	30	1		0		0		0		
67		0		基 礎 数 的 I 数的推理	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答 する	2 前	50	2	0			0		0		
68		0		基礎数的Ⅱ 判断推理	数学的な基礎知識及び倫理的な思考を基 に、文章問題を解答する	2 前	40	2	0			0		0		
69		0		実践数的 空間把握	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、 問題を解答する	2 前	20	1	0			0		0		
70		0		基礎社会学 I 政治	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識 を学ぶ	2 前	30	1	0			0		0		
71		0		基礎社会学Ⅱ 経済・社会	金融政策・財政政策・外国為替など、経済 の基礎知識、労働問題など、社会の基礎を 学ぶ		40	2	0			0		0		
72		0		基礎数的 I 数 的処理	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答 する	2 前	50	2	0			0		0		
73			0	パソコン実習 I	Excelの資料作成、作業スピードを向上させるテクニックを習得する	2通	30	1	۵	0		0		0		
74			0	ビジネスマ ナー	ビジネス電話対応や接客、接遇に関する ルールを学習する	2 通	60	2			0	0		0		
75			0	販売知識基礎	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、 マネジメントの知識を理解する	2 通	90	3	0			0		0		
76			0	販売知識応用	小売業について大敵的に学び、実務的なビ ジネスの知識を理解する	2 通	90	3	0			0		0		0
77			0	経営常識	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習	2 後	30	1	0	Δ		0		0		
78			0	FP基礎	日常生活に関わる様々なお金の知識を身に つける	2 前	120	4	0	Δ		0		0		
79			0	FP応用	日常生活に関わる様々なお金の知識を身に つける	2 前	60	2		0		0		0		
80			0	FP総合	「お金」に関する総合的な知識を深め、経 済社会との関係性を理解する	2 前	90	3		0		0		0		
81			0	ITパスポート 基礎	情報技術の基礎となる考え方・仕組み・専 門用語を理解する	2通	90	3	0			0		0		
82			0	IT パス ポート・リテラシ 演習	情報技術の考え方・仕組み・専門用語を問 題演習を通じて学ぶ	2 後	30	1		0		0		0		
83			0	ITパスポート 応用	基礎レベルではやや難しい情報技術の考え 方を問題演習を通じて学ぶ	2 後	60	2	Δ	0		0		0		
84			0	財務会計	財務諸表の作成に関する知識と技術を身に つけ、財務会計の意義や制度についての理 解を深めるための講義	2 通	90	3	0			0		0		
85			0	word基礎	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作 を理解する	2 前	30	1			0	0		0		
86			0	パソコン実習 II	Excelの資料作成、作業スピードを向上させるテクニックを習得する	2通	30	1	Δ	0		0		0		
87			0	パソコン実習 Ⅲ	応用的な機能を活用した文書作成や複雑な データ集計を行うスキル習得のための実習	2通	30	1			0	0		0		
_	_	_		•		_						_	_	_	_	_

88	0	経理実務	経理事務で必要となる業務内容を体系的に 学び、知識を習得するための講義	2 通	60	2	0	Δ	0		0		
89	0	給与計算実務	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解 し、特に年末調整事務を行うために必要な 知識を習得する講義	2後	30	1	0	Δ	0		0		
90	0	英会話入門	日常生活で簡単な英会話を事例をもとに学 習する	2 通	30	1	0	Δ	0			0	
91	0	言語知識 (中 国語) I	中国人ネイティブ講師による講義	2後	30	1	0		0			0	
92	0	言語知識(韓 国語) I	韓国人ネイティブ講師による講義	2後	30	1	0		0			0	
93	0	マーケティン グ概論	マーケティングの必要性と目的を学習する	2 後	60	2	0	Δ	0		0		0
94	0	卒業前特別講 座	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	2後	30	1	0		0		0		
95	0	卒業研究・発 表	実店舗を題材にして、課題に対する改善案 を提案し発表する	2後	60	2		0	0		0		0
96	0	実践答案練習 I	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識 を学ぶ	2 前	60	2		0	0		0		
97	0	公務員時事対 策	自然科学から国際問題まで幅広いジャンル の社会時事を学ぶ	2 前	30	1	0		0		0		
98	0	基礎言語 I 文理·国語	文法などの国語分野の基礎的な知識と文章 読解力の習得	2 前	20	1	0		0		0		
99	0	基礎言語 Ⅱ 英語	文法や熟語など英語分野の基礎的な知識の 習得	2 前	20	1	0		0		0		
100	0	実践数的総合	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答 する	2 前	20	1		0	0		0		
101	0	実践人文科学 I 地理	気候や各国の産業などの基礎知識と本試験 レベルの実践的知識を学ぶ	2 前	20	1	0		0		0		
102	0	実践人文科学 II 日本史	大和政権から昭和までの日本史を学ぶ	2 前	20	1	0		0		0		
103	0	実践人文科学 Ⅲ 世界史	中国の歴代王朝と、ヨーロッパ世界を中心 とした世界の歴史を学ぶ	2 前	20	1	0		0		0		
104	0	基礎人文科学総合	西洋および東洋の倫理や芸術、文学を学ぶ	2 前	20	1	0		0		0		
105	0	基礎数学 I	基本的な数学計算の能力を身に付け、文章 問題を解答する	2 前	20	1	0		0		0		
106	0	実践人文科学 II 日本史	大和政権から昭和までの日本史を学ぶ	2 前	20	1	0		0		0		
107	0	実践人文科学 Ⅲ 世界史	中国の歴代王朝と、ヨーロッパ世界を中心 とした世界の歴史を学ぶ	2 前	20	1	0		0		0		
108	0	公務員適性検 査演習 I	公務員試験で重視される事務適性試験の得 点力を強化する	2 前	60	2		0	0		0		
109	0	公務員適性検 査演習Ⅱ	公務員試験で重視される事務適性試験の得 点力を強化する	2 前	40	1		0	0		0		
110	0	公務員教養論 作文対策	公務員教養論作文試験対策のレクチャー及 び実践練習を行う	2 前	30	1		0	0		0		
111	0	基礎自然科学総合	物理・化学の基礎知識を習得する	2 前	20	1	0		0		0		
112	0	実践数的IV 数的総合	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答 する	2 通	40	2		0	0		0		
113	0	実践自然科学 I 生物・地学	生体から自然環境までの生物分野、地球の 内部構造から宇宙までの地学分野を学ぶ	2 前	20	1	0		0		0		
114	0	実践自然科学 II 物理・化学	物理分野は基本的な公式を覚え、運動・ 熱・電気などの仕組みを学び、化学分野は 物質の仕組みや物質の変化を学ぶ	2 前	20	1	0		0		0		
115	0	実践答案練習	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識 を学ぶ	2 前	90	3		0	0		0		
116	0	総合答案練習工	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的 な知識を学ぶ	2 前	150	5		0	0		0		
117	0	直前答案練習 Ⅱ	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的 な知識を学ぶ	2 前	120	4		0	0		0		
										_	_		

	_	I												_
118	0	直前答案練習皿	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的 な知識を学ぶ	2 後	30	1		0		0		0		
119	0	財政学	財政学の基礎知識を学ぶ	2 前	20	1	0			0		0		
120	0	商法	商法の基礎知識を修得する	2 後	15	1	0			0		0		
121	0	公務員時事研 究	就職先に関連する社会的ニュースを考察す る	2 通	30	2		0		0		0		
122	0	一般教養Ⅰ	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字 熟語、慣用句などを学ぶ。	2 前	30	1		0		0		0		
123	0	一般教養Ⅱ	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語な ど国語分野に関する知識まで身に付ける	2 前	30	1		0		0		0		
124	0	ビジネス教養 I	企業内で多岐にわたり使用される電卓のス ピード、正確性を高める実技演習を行う。	2 通	30	1	Δ	0		0		0		
125	0	ビジネス教養 II	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養 う	2通	30	1		0		0		0		
126	0	卒業前特別講 座	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	2 後	30	1	0			0		0		
127	0	キャリアデザ イン I	面接試験において求められるビジネスマ ナーの基礎を学ぶ	2通	30	1	Δ	0		0		0		
128	0	キャリアデザ インⅡ	会社などの組織を理解し、最低限身につけ なければならないスキルの学習	2 後	30	1	Δ	0		0		0		
129	0	公務員キャリ アデザイン基 礎	効果測定を通して面接の基礎を習得し、4試 験種に向けた面接指導を行う	2通	90	3		0		0		0		
130	0	公務員キャリ ア デ ザ イン 公務員春試験	公務員春試験の二次試験を踏まえた実践的 な面接の練習	2 前	30	1		0		0		0		
131	0	公務員キャリ ア デ ザ イン 公務員秋試験	公務員春試験の二次試験を踏まえた実践的 な面接の練習	2 後	120	4		0		0		0		
132	0	就職活動準備	公務員及び民間就職の活動前に基礎手金あ ビジネスマナーや所作を学ぶ	2 後	90	3		0		0		0		
133	0	トレーニング 実習	トレーニング関連の講義から得た知識を活 かした実習を行う	2 後	30	1			0		0	0		
134	0	職業実務I	公官庁から講師をお招きし、その講義から 得た知識を基に官公庁・法律研究を行う	2 通	15	1		0		0		0		
135	0	職業実務Ⅱ	実務経験のある講師をお招きし、その講義 から得た知識を基に官庁企業研究を行う	2 通	15	1		0		0	0	0		0
136	0	職業実務Ⅲ	官公庁から講師をお招きし、その講義から 得た知識を基に官庁企業研究を行う	2 通	15	1		0		0		0		0
137	0	職業実務Ⅳ	官公庁から講師をお招きし、その講義から 得た知識を基に官庁企業研究を行う	2 通	15	1		0		0		0		0
138	0	職業実務V	公官庁等に関する講義(または演習・実習)を行い、その講義(演習・実習)から 得た知識を基に官庁企業研究を行う		15	1		0		0		0		0
139	0	公官庁講話	現役公務員の様々な職種の方の講話を聴き 職種への理解を深める	2 通	20	1	0			0		0		
140	0	公務員倫理	実務経験者をお招きし、公務員に関する法 令や服務規程を学ぶ	2通	15	1		0		0		0		
141	0	公務員ボラン ティア実習 I	ボランティアの基本的な在り方を学び、実 習も踏まえて理解を深める	2 通	30	1			0		0	0		
142	0	公務員ボラン ティア実習Ⅱ	ボランティアの基本的な在り方を学び、実 習も踏まえて理解を深める	2通	30	1			0		0	0		
143	0	ビジネスマ ナー	ビジネス電話対応や接客、接遇に関する ルールを学習する	2通	60	2	Δ	0		0		0		
144	0	パソコン実習 I	Excelの資料作成、作業スピードを向上させるテクニックを習得する	2通	30	1	Δ	0		0		0		
145	0	法律研究	法律に関する講義を受け、研究および発表 を通じて法律の考え方を学ぶ	2	30	1			0	0		0		0
146	0	公務員就職試 験対策演習	多様化する公務員試験に対応するための一 般教養力の習得	2 後	30	1		0		0		0		
147		行政研究	災害対策に関する講義を受け、研究および 発表を通じて防災への理解を深める	通	30	1			0	0	<i>(</i> ±-	0	n+ -	0
	合語	iT	147	*	相				7379	単	ıπ (単位	時間	117

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件:	修業年限(2年)以上在学し、1700時間以上の授業を履修かつ、必修科目を含めた62単位以上を修得した者が卒業を認定される。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法:	必修科目は必ず履修し、選択必修科目は別に定める別表の通り履修する必要がある。 配当年次欄に1・2と記載がある科目の履修学年次は不問とする。	1 学期の授業期間	20 週

⁽留意事項)
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について〇を付し、その他の方法について△を付すこと。
2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。